

市報

おおいた

《水は限りある資源です。大切に使いましょう》

54. 3. 1

No. 784

編集と発行
大分市荷揚町2番31号
大分市市民部広聴広報課
(☎34-6111)



手話劇「はだかの王様」練習中



22

手話サークル「はぐるま」

「はぐるま」が生まれたのは46年9月。きっかけは、この年4月から手話奉仕員の養成事業として、手話講習会が開かれた際、ここに集まった人たちで作られた。九州管内では一番古い実績を誇っていると言う。

活動は、手話通訳者を病院や役所あるいは会社などに派遣することが主で、ろうあ者の知る権利を少しでも補うことができればと、みんなで努力を続けている。会員は40人（女25人、男15人）で、公務員、銀行員、

主婦などがいる。しかし、半数の人たちは耳が不自由だそうだ。毎週火曜日の夜、県聴力言語障害者福祉会館に集まり、勉強をしている。中には杵築市から車で通って来る女性もいる。

会長の二宮敬介さん（46歳）は言う。「手話を覚えると、顔の表情が豊かになって、表現力が出てくる。ろうあとの心の触れ合いを通して、生活や福祉を豊かにしてゆきたい」。

3月4日には「耳の日大会」が開かれるが、その時ひろうする手話劇「はだかの王様」の本読みが熱っぽく繰り返されているところだ。[連絡先=土屋☎438609]

발달

日ごろ感じて
ることや意見
要望なんでも
寄せ下さい。

消費者の声を反映させ安心して暮らせる大分市に

行つたところ、3人に1人強の割合で被害を受け泣き寝入りしていることがわかりました。このように私たちを取り巻く生活環境はますます厳しいものがあります。

「消費者は常に消費者の安定お
よび向上に必要な知識を積極的
に修得するとともに、自主的かつ
合理的に行動するよう努めるも
のとする」と消費者の役割がう
たわれていますが、ご存知でし
ょうか。

スポーツを通じて青少年の
非行防止を



安部 マス

10年前の5月30日消費者保護基本法ができ、この日が消費者

私ども消団連は基本法にそつていろいろな活動をしています。2月に化粧品のアンケートを

踏切を渡るときは安全を確
認して欲しいですね



神経を使う仕事なので大変ですね。
列車が1日百62回通過するからね。車が渋滞し始めると気を使いますよ。
特に寒い夜は大変ですね。
服が凍りつくほど冷たいのですが、でも、皆さんが安全に渡つていただけるようにがん張っています。

これも消費者の声が反映され条例誕生ということになつたのでしょう。

しかし、条例ばかり頼つていいではないと思います。この条例を生かすも殺すも消費者自身にあると思います。

基本法と県の保護条例の中に

ひとりは弱き者です。

みんなで手をつなぎ、昨日は
今日、今日よりは明日の消費生
活に一層の充実を図るため、学
習と組織の輪をひろげ、皆さん
の声を行政や業者へ反映させて
安心して暮らせる大分市にした
いと考えています。

安全を確認して渡つて欲しいですね。特に車の人は、前後の間隔をとつてもらいたいです。



長浜町

ア号埋立地を子供の広場に



坂ノ市
足立 良江

子供が自由に遊べる広場が少なくなっている現在、空地として放置されている坂ノ市の7号埋立地を子供の広場として利用させて欲しいのですが。
(係から) 7号埋立地は県の新産都開発局の管理地です。

地域方に体育協会組織を作り、親と子が一緒になつて、近所の人とスポーツなどをを行う機会を持てば、青少年の非行も防げるのではないか。」

今後とも、市民皆さんのご協力によって、青少年スポーツの普及発展に努めたいと考えています。

少年の健全育成に果たすスポーツの役割はきわめて大きいものがあります。

現在、大分市には全地域に校区(地区)体育協会が設立され、それぞれ実情にあつたスポーツ事業を開発し、その活動が年々活発になっております。

特に、青少年を中心としたスポーツについては、スポーツ教室や各種スポーツセミナーなどを開催して、ジュニアスポーツクラブを育成しています。

しかし、埋立工事もようやく最終段階に入り、工事用の車がひんぱんに出入りするため、危険な状態です。

このような状態ですので、今年からこの埋立地での利用はできなくなりますと新産都開発局から返答がありました。

市としては、子供たちが自由に遊べる広場を各地域に設けていきたいと思います。

編集子ストレーナー

◎34万市民の生命と財産をまもる消防。その本拠となる消防庁舎問題をとりあげてみました。…(佐)
◎税は市の貴重な財源です。申告を忘れずに……………(安)
◎緑化推進の一翼を担うミスみどりさん。今後の活躍を期待します。……………(皆)